

「あらかわの心」ニュース



第4号 平成19年3月20日発行

【発行】「あらかわの心」推進運動区民委員会
 【事務局】〒116-8501 荒川区荒川2-2-3 荒川区子育て支援部計画課内 TEL 3802-3111 内線 3812 FAX 3802-0809
 【メールアドレス】arakoko@city.arakawa.tokyo.jp 【ホームページアドレス】http://www2.bbweb-arena.com/arakawa/

「おせっかい体験談」リーフレットができました



「あらかわの心」推進運動区民委員会では、「おせっかいおじさん・おばさん運動」として、他人に関心を持ち、支え合うという意味での「おせっかい」をPRしています。

区民委員会では、「この運動をきっかけに、普段「おせっかい」にためらいを感じている人が、勇気をもって一歩を踏み出せるようになることを目的として、さまざまな啓発活動を行っています。

この運動の一環として、荒川区で実際に日々行われている「おせっかい」がどのようなものか、皆さんの体験を募集したところ、14作品の体験談が寄せられ、全作品を掲載したリーフレットを作成しました。

このリーフレットは、区民事務所・図書館等で配布しているほか、「ご希望の方には郵送でお送りしています。

※体験談のご感想をお寄せください。また、「ご自分が感じたおせっかい体験がありましたら、あわせてお送りください。

◀街中に掲示されているポスターです



下町、人情、おせっかい

「雷親父、ガキ大将、駄菓子屋、銭湯...。考えてみると、以前は子どもの世界の中でもいろいろな大人たちとの関わり、おせっかいの中で、社会のルールや秩序、痛みなどを自然に学べたのだと思います。テレビゲームでしか遊べない子どものためにも、そろそろ俺も町内のおせっかいな雷親父デビューするとするか!」

自転車マナーの悪さ

「自転車のルール違反が多く、2人乗り、無灯火、信号無視、片手ハンドルは雨の日のカサ、ケータイと無法地帯です!」横道から、自転車が一時停止もせずに飛び出してきた。乗っていたのは小学4-5年生の男の子。もう少しでぶつかるところだったし、私の後からはライトパンの自動車走って来ていたので、「絶対にダメ」とおせっかいな説教をしてしまった」など、自転車のルール違反に苦い体験をした人は多いのでは?

こんな体験談を掲載しています

体験談を読んで

地域の町会連合会の定例会で「おせっかい体験談」リーフレットを手に入れました。そこでこの体験談を読み、地域の町会や学校などの連携が大事だと改めて思いました。そして、私たちの町会の役員会でも、おせっかいは率先して実施しよう、と呼びかけました。

町屋江川町会 会長
丹野 清治

声かけの大切さ

「安全パトロールのとき、子どもたちを強く叱ったりしていたので嫌われているのかと思ってたところ、かえって慕われていると知り、仲間の人達にも遠慮しないで注意したり、声かけをした方が良くと動いています」など、「少しおせっかいかな」と思っても子どもに声をかけることの大切さがわかります。

若いママに苦い思い

「公園でスケッチをしていたら、女の子がそばに来たので話をしていると、女の子のママが来て、「声をかけないで下さい」と言われた!」商店街の車道側に子どもを歩かせている母子に注意したところ、若いママは私をにらみつけるような恐い顔で行ってしまっ!」など、人との関わりが薄い今日を実感させられます。



▲防犯ブザーにシールを張っています



▲小さなあいさつ隊の印です

尾久第六小学校では、毎学期始めにレインボー子ども会の方があいさつ運動をしてきています。伝統ある大きなあいさつ運動です。三学期、小さなあいさつ運動が始まりました。子どもたちの小さなあいさつ隊です。何か印がほしいなと思ひ、「あらかわの心」のシールを渡しました。防犯ブザーに張ったりしています。ちょっと自慢のようです。わたしも子どもたちとあいさつをする中、かわりが広がりとてもうれしい毎日です。

大きなあいさつ運動と 小さなあいさつ運動

尾久第六小学校 校長
長谷川 秀紀



4cm X 2.8cmのシールです(原寸大)

たとえば、尾久第六小学校では、あいさつ運動の活動の印として、シールを活用しています。団体等でシールを使用したい方は、事務局までお知らせください。

「あらかわの心」推進運動のシンボルマークのシールができました。主に、区民委員会参加団体や学校等に配布し、会議の資料に添付したり、推進運動の印にしたりして広く活用されています。

シンボルマークのシールができました

「あらかわの心」推進運動PR寸劇パート2 「おばあちゃんのおせっかい」編ができました

「あらかわの心」推進運動
区民委員会では、活動内容を
わかりやすく紹介するため、
寸劇による出前説明会を行っ
ています。今年、新たに「おば
あちゃんのおせっかい」編とい
う内容の寸劇ができました。

内容は、荒川の街を二人元
気に見守り続けるおばあちゃ
ん。猛スピードの自転車で駆
け抜ける高校生やおしゃべり
に夢中になっている若い母親、
たばこの吸殻を投げ捨てるサ
ラリーマン、歩きながらゲーム
に夢中な小学生。一人ひとりに
声をかけ、注意をすると、みん
ながおばあちゃんの言うことに
耳を傾け始める。その様子
を見ていた近所に住む女性や
世話焼きの男性、おばあちゃ
んの娘も加わって、話をしてい

るうちに、おせっかいの大切さ
に気づいていくというお話です。
これからも随時、団体の会
合や、イベント等で出前説明
会を開催していきますので、
ご希望をされる方は事務局
までご連絡ください。



おまわりさんも登場しました

寸劇に出演しました

「あらかわの心」推進運動

区民委員会幹事

川田 和子

今回の出前説明会は、2月
24日に「三河島ひろは館まつり」
で行いました。当日の会場には、

子どもたちを始め、幅広い年
齢層の方々、立ち見の方も大
勢出る盛況の中、それぞれに
凝った役作りで「おせっかい」
のPR、また、荒川警察署から
「おまわりさん役」も登場。「防
犯」のPRにも努めました。
今までにない演出で、共演の
成果に大きな拍手をいただ
きました。有意義なひと時で
した。

町会が取り組む環境リサイクル

「あらかわの心」推進運動

区民委員会幹事 三ツ山 純子

町屋二丁目南町会では、毎月第
2・第4の土曜日資源ごみ回収に
力を注いでいます。所定の収集場
所から空き缶、新聞、雑誌、ダンボー
ル等を箇所に集め分別し、特に
アルミ缶は、圧縮機にかけるため

場所を移動し早朝より会長さん
を先頭に役員、婦人部の方々が揃
いのエフロンを着け、作業を行っ
ています。活動を始めて4年にな
りますが、当初は分別のモラルが守
られず、大変苦労したと聞かまし
た。今では少しずつルールが守ら
れこの様な地道な作業をいつも
笑顔で取り組み活動をしています。



早朝から作業を行っています

新春タコあげ大会

「あらかわの心」推進運動

区民委員会幹事

越村 桂子

青少年対策南千住地区
委員会は、1月21日、新春タ
コあげ大会を開催しました。
これは、午前中に自分で絵
を描いたタコを親子で製作
し、トン汁と焼きそばを食べべ
たあと、南千住野球場でタ



お父さんの方が熱中しています



うまくあがったかな？

コあげをするものです。
お正月でも日本の伝統行
事を体験することが少なく
なった今日、親子で協力しな
がらタコを作り、広い場所
でタコあげができる機会はな
かなかありません。今年は、
約170人の親子が参加し、
タコつくりを楽しみました。



エイサー講習会

東京荒川ロータリークラブ

佐藤 悦康

東京荒川ロータリーアクトクラ
ブは、3月11日、エイサー講習会
を開催しました。

これは、第四峡田小学校の児
童を対象に、楽しみながら沖繩
を知ってもらいたいという沖繩
のクラブ会員の指導により行

れました。

子どもたちは、沖繩に関する
クイズを楽しんだ後、沖繩の踊り
であるエイサーを体験しました。

第四峡田小学校のPTAの
ご協力により、和やかな雰囲
気の中、子どもたちは元気に
練習し、踊りを覚えて交流を
楽しみました。



エイサーが楽しい！

平成19年度賛助会員を募集します

荒川区には、郷土と地域を愛し、
人を思いやる温かくやさしい心が
受け継がれてきました。子どもた
ちの未来のために、この「あらかわ
の心」を私たち大人がさまざまな
実践を通して、明日の世代につな
いでいくため、「あらかわの心」
推進運動を息の長い運動として
推進していきたいと考えています。

今後さまざまな事業を実施
してまいります。そのためには
安定した資金を確保していくこ
とが必要です。そこで、皆様にご
の運動へのご賛同と賛助会費によ
るご支援をお願いするため、賛助
会員を募集します。

皆様のご理解とご協力をお願
いいたします。詳細については、事
務局までお問い合わせください。
賛助会費(年会費)
個人会員 二〇 一千元
団体会員 一〇 五千元



あいさつ・きまり・思いやり・体験・見守り
「あらかわの心」推進運動～心をつなぐ5つの取り組み～